

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	彩(さやか)ケアホーム(定員4名)が新設され、居心地よい住環境の中で利用者は快適に生活を送ることができます
	内容	青粹ケアホームのほか、令和2年8月に彩(さやか)ケアホーム(定員4名)が新設され、全体での受け入れ定員も8名に増員しました。彩ケアホームは和モダンの設計で設計され、「ご自分の人生をご自分で彩って歩んでいけるように」という願いが込められています。ホーム内に入ると高原のコテージのような雰囲気であり、1階のウッドデッキのスペースでお茶を飲んだり、バーベキューなども楽しんでいます。また、感染対策として隔離できる個室を用意してビニールテントと空間除菌用の清浄機を用意して緊急時に活用できる状態にしています。
2	タイトル	事業所の取り組みを多くの方に知って頂けるように、ホームページを定期的に更新して、最新情報を積極的に発信しています
	内容	今年度ホームページが改訂され、法人が運営する各事業所の詳細のほか、「六三四通信」のコーナーでは各事業所での取り組み内容を発信しており、お楽しみ会の内容や移動水族館を呼んでみんなで楽しんだ様子など定期的に発信しています。さらにホームページからは「六三四たより」のダウンロードが可能なほか、革工芸で利用者作った作品をギャラリー形式で作品を発信しています。利用者の日々に成果なども含めて多くの方に事業所の内容を知って頂けるように、ホームページを定期的に更新して、最新情報を積極的に発信しています。
3	タイトル	
	内容	
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	アセスメントの定期の見直しや入居時に確認した利用者状況を記録する様式の統一化などが望されます
	内容	利用者の心身の状況や生活状況等については所定のアセスメントシートに利用者の基本情報のほか、食事、排泄、入浴、着脱、整容、移動の動作状況のほか、ADL(日常生活動作状況)、IADL(手段的日常生活動作状況)を記録しています。アセスメントは個別支援計画書更新に合わせて見直しを行う仕組みとしていますが、現状定期の見直しが課題となっています。また、入居時に確認した利用者の状況等を記録する書式についても各ユニット毎で様式が定まっていないため、統一した様式で利用者状況が確認できるようになることを期待します。
2	タイトル	業務や支援のばらつきをなくしていくために、細かな業務や利用者の支援に必要な個別マニュアルなどの段階的な整備を期待します
	内容	1ユニット増設に伴い、利用者も4名増加し、職員もこれまでのユニットと兼務をして利用者の支援にあたっています。利用者のADLや障害の特性も異なることもあります。職員間の情報の共有が不可欠になるほか、業務や支援のばらつきを防ぐことなどが現状の課題となっています。特に業務や支援のばらつきをなくしていくためには既存のマニュアルの見直しを進め、現状に即したマニュアルを整備されることも望まれます。共通業務等のマニュアルは整備されていますが、細かな業務や利用者の支援に必要な個別マニュアルなどの段階的な整備を期待します。
3	タイトル	
	内容	